

当社は、HS財団動物実験認証施設です

シストメトリー法を用いた膀胱機能評価

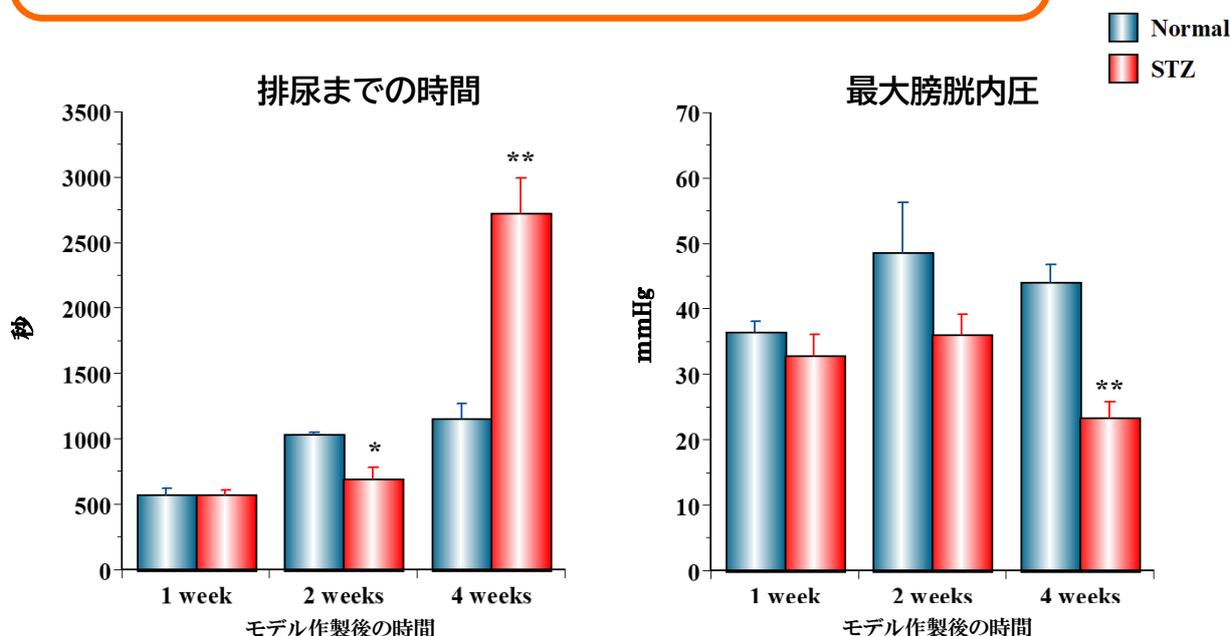
排尿機能の評価方法として、膀胱内圧測定法（シストメトリー）があります。これは膀胱内に生理食塩水または空気を持続的に注入し、その注入量と膀胱内圧との関係を記録する方法です。今回は、正常動物及び病態動物における違いを紹介します。

1. STZ誘発糖尿病ラットにおけるシストメトリー

動物: Slc:Wistar、雄、8週齢

モデル作製方法: STZ40mg/kgを静脈内投与し、投与後1, 2及び4週に評価

評価項目: 排尿までの時間、最大膀胱内圧

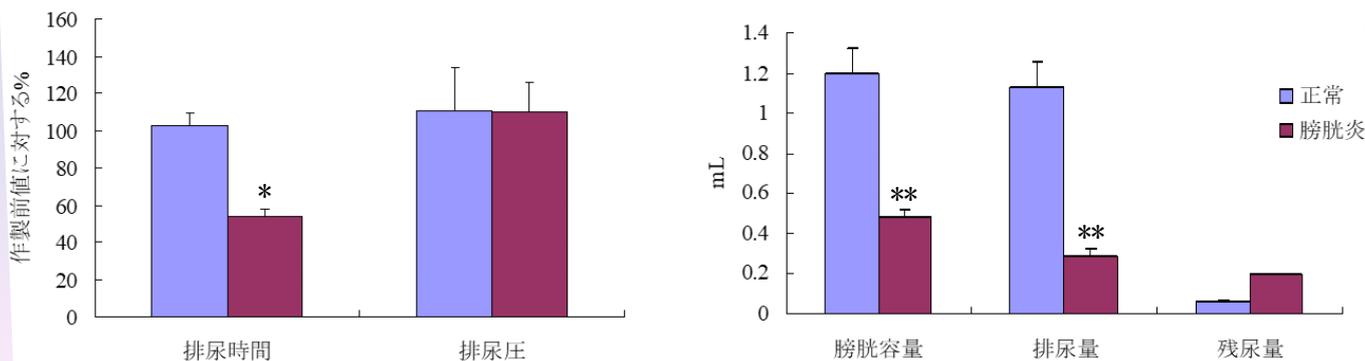


2. 間質性膀胱炎モデルラットにおけるシストメトリー

動物: Crj:CD(SD)、雌、8週齢

モデル作製方法: 5%マスタードオイルを注入することで膀胱炎モデルを作製し、作製後10日に評価

評価項目: 膀胱容量、排尿量、最大膀胱内圧、残尿量



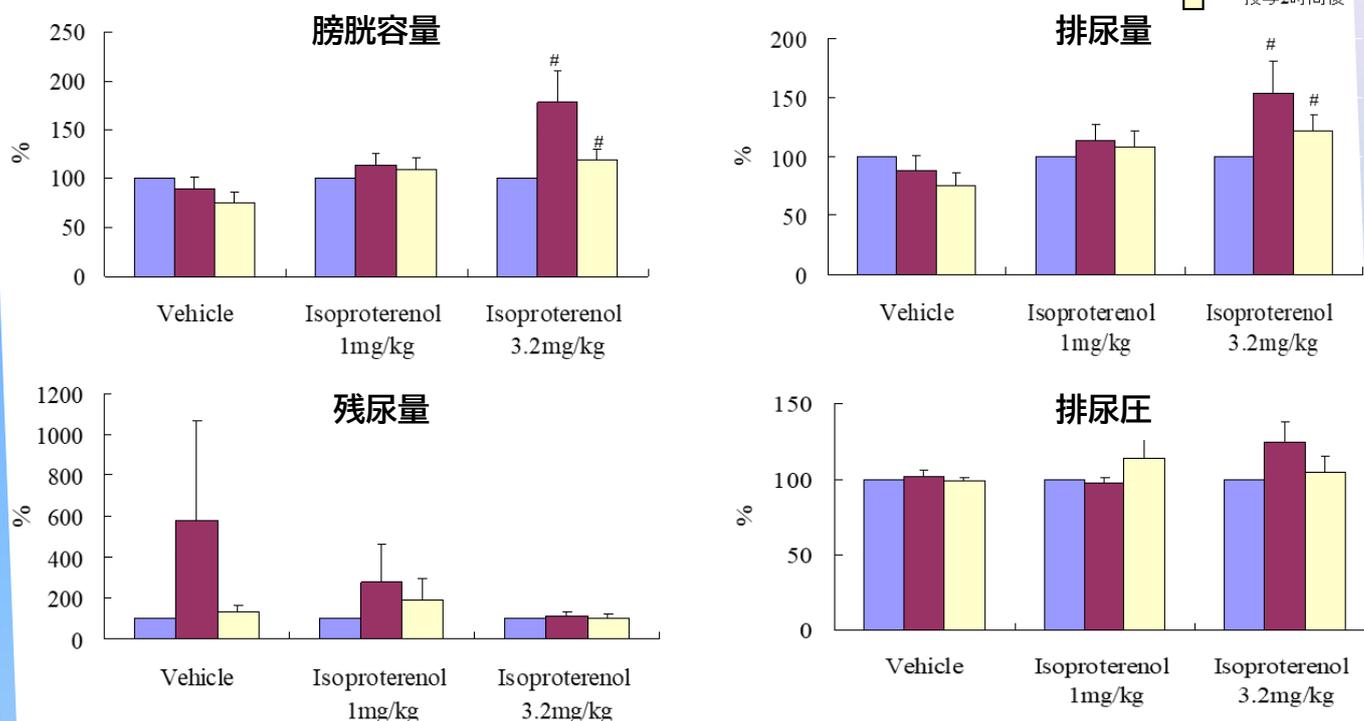
3. 正常ミニブタにおけるシストメトリー

動物:ミニブタ、雌、7~9ヶ月齢

評価薬物: Isoproterenol (非選択的 β 作動薬)

評価項目: 膀胱容量、排尿量、残尿量、排尿圧

■ 投与前
■ 投与1時間後
■ 投与2時間後



vs. the vehicle, Dunnett's test

オンラインセミナーのご案内

当社では約30年前に薬効薬理試験の受託を開始した当時から、中枢神経系の薬理試験に注力してきました。時を経て医薬品開発の風潮が変遷する中、中枢神経系疾患は未だアンメットメディカルニーズが高く、現在も活発に開発されている領域です。

この度、中枢試験、とりわけ精神および行動の障害をテーマにした「無料のオンラインセミナー」(Microsoft Teamsを使用)を下記の通り配信いたします。是非ご視聴ください!

12月4日(金) 15:00~16:00

「精神疾患動物モデルのご紹介」-背景データからみえてくるモデルの妥当性-
統合失調症及び気分障害を中心に

講演者: 株式会社日本バイオリサーチセンター 試験部 パブラック晶子

〈セミナー概要〉

当社が提案する中枢神経系の精神および行動の障害モデル、中でも今回は特に統合失調症、気分障害を中心にご紹介させていただきます。統合失調症には様々な病態仮説が提唱されています。ヒトの疾患の複雑さゆえに、いずれの仮説も一つだけでは疾患を説明することはできないものの、病態の一面を理論的に説明することができます。このため、これらの仮説を基に動物モデルを作製し検証してきました。本セミナーにおいては、各仮説に基づいた動物モデルをご紹介させていただきます。

うつ病は社会的負担の大きい疾患の一つです。うつ病は症状及び原因の多様性から、治療薬の有効率がそれほど高くなく、今後も継続して病態解明、治療薬開発が続けられるべき分野です。当社では、様々なモデルを提供しております。外科的、社会的に作製したモデルを中心にご紹介させていただきます。

※セミナーの視聴には事前申し込みが必要です。

申込方法 : ホームページまたは、所定の参加申込書

申込締切日: 2020年12月2日(水)